

# わいわい 通信



お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- くらしカフェ
- 余暇利用
- 環境保全

よもやの特別警報、一夜にして家を失った方や、水害に見舞われた方も県内で多くおられました。”災害が少ない県”という神話も崩れ去った感じがします。

復旧は、現在も続けられています、多くのボランティアによる支援が行われました。私たちも、くらし支え合いの活動を行っていますが、非常時・日常の別なく、”困ったときにはお互い様”の気持ちで、臨みたいと思います。

**あんしん  
なっとく  
じゅうじつ の生活**



## NPOの活動報告

- 5月10日 くらしカフェ月一ミーティング
- 5月25日 第1回理事会 (ほっと館 2階会議室)
- 6月 1日 2013みんなおいでやコンサート (雨山 研修館)
- 6月 2日 井の元川環境保全活動
- 6月 7日 くらしカフェ月一ミーティング
- 6月 9日 第2回理事会 (石部南まちづくりセンター会議室)
- 6月 9日 総会 (石部南まちづくりセンター 会議室)
- 6月16日 わいわい運営推進会議
- 7月 1日 第3回理事会 (役員を選任)
- 7月 5日 くらしカフェ月一ミーティング
- 7月27日 湖南省・糸賀勉強会 (サンライフ甲西)
- 8月 9日 くらしカフェ月一ミーティング
- 8月 日 ホーム・事業所合同連絡会議
- 8月16日 日帰り旅行 (和歌山 黒潮市場・関西国際空港)
- 8月18日 わいわい運営推進会議
- 9月 1日 湖南省夏まつり (雨天中止)
- 9月 7日 くらしカフェ月一ミーティング
- 9月22日 第4回理事会 (新ホーム整備)
- 10月20日 わいわい運営推進会

月1回 ホーム・事業所会議、あったか企画会議、わいわい運営会議

**募集中**

わいわい日中ボランティア。  
時間：おまかせ。  
月1回でもかまいません。  
お話相手、散歩・買い物  
などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局 TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907

発行：特定非営利活動法人NPOワイワイあぼしクラブ

## 「本当の美学とは」

時々、県内の人権関係の研修会に呼ばれて話す機会がある。「認知症や障害を抱えるようになって、一人でも多く一日でも長く我が家で暮らして下さい。出来ればそのまま我が家で死んで下さい。」と結ぶと、たいがい会場の男たちから質問が挙がる。

「いいですか先生、私は家族や身内に迷惑をかけたくないから施設（特別養護老人ホーム）に入ります。こんな考えいけないですか？」というものだ。この質問に、会場の他の男たちの大半がうなづく。

一聞、この質問はとても合理的なようだが、実はそうではない。人は誰しも、生まれてから死ぬまで、自分以外の人に迷惑を掛けずに生きていくことは出来ない。ましてや介護が必要な年齢になったら、これまで以上に家族や家族以外の人に頼らないと暮らしていけない。

それと、施設に入ると権利としての援助（ケア）を受けるので迷惑には当たらないというつもりであろうが、それも間違っている。在宅重視でつくられた介護保険は入所系のサービスによりお金が掛かるしくみになっていて、在宅生活が可能な人が安易に施設を選ぶこと自体がすでに社会に対する迷惑と考えられる。

質問者の大方は、団塊の世代の男たちで、誰にも迷惑を掛けずに死んで行くという美学のつもりであろうが、それは美学とは言わない。

比して女性の参加者はきれいごととは言わない。「先生、私はやっぱり、無理かも知れないがピンピンコロリで死にたい。でも三人に一人が認知症になるんですか、うーんっ、でもね施設には入らへん。はいつくばっても家で生活する！迷惑？仕方ないね。お互い様やし。」と明快である。

もちろん大きな迷惑は薦められないが、迷惑を掛け合いながら人と人がつながっていく、迷惑で気づきが生まれ小さな助け合いが生まれていく。スマートになり過ぎた人や地域がもう一度「迷惑」を取り戻し、活気のある人づくり、地域づくり、元気な日本づくりを進めるのが本当の男の美学ではないか。（み）



### インフォメーション

<新ホーム整備>かねてから新ホーム整備の土地を探していましたが、このたび、ご紹介いただき、開発許可や補助金の協議を進めることとなりました。

国道1号線沿いの会社に勤めている人にとって通勤に便利になるとともに、設備の整ったホームへの入居を必要とする人の受け入れも可能となります。

詳しくは、次回ご報告いたします。

— グループホームわいわいでは2か月に一度“運営推進会議”を開催しています。  
会議メンバーとして関わって下さっているメンバーさんからメッセージをいただきました—

### 運営推進会議のメンバーとして



私はグループホームわいわいの運営推進会議のメンバーとして、2ヶ月に一度の割合で訪問させていただき早や3年目になります。

長らく会社人間のみで過ごしてきましたので、福祉に関わるスタートが「グループホームわいわい」と民生委員でした。その後、施設規模が大小の運営推進委員等々にも関わっておりますが、「グループホームわいわい」は小規模で経営面では維持管理に大変御苦労されているのではと思います。運営面では、溝口理事長の福祉に対する情熱のもと、スタッフ一同が一致団結したチームワークで取り組まれ、心あたをまるお世話をされておられます。時には利用者の家族も加わって実に家庭的ですばらしい施設であります。訪問させていただく毎に、和やかであたたかい雰囲気を感じ、大変感動しております。

区切りの10周年を迎えられ、今後益々少子高齢化核家族の進む中、地域に密着した福祉施設として発展されるよう祈念しております。

鶴岡 憲房



## 2013年 あったかほーむいしべ宿の夏休み



例年あったかほーむに、学校が夏休みに入ると20名前後の子ども達が来てくれます。

今年も流しそうめんとスイカ割り・カレー作り・おやつ作り・バス旅行・映画会等週に一度のイベントを組み、子ども達の夏休みに彩りを添えました。また、毎週月曜日には、いしべっ子さんに来ていただき、伝承遊びやおもちゃ作りを子ども達に教えてもらいました。こうした活動を通して子ども達と大人・お年寄りが自然な形で交流できる場を提供しているのがあったかほーむです。

昨年から、朝みんなが集まった9時頃から20分程ほーむの周辺の草むしりを始めました。

最初はブツブツ不満を言っていた子どもたちも、小さい子ども達がやっているのを見ていつの間にか黙々とやってくれるようになりました。

これもささやかな活動ではありますが毎日の積み上げで周辺がとても美しくなりありがたいことだと思っています。

こうして2013年のあったかほーむ夏休みは、どこかなつかしい風景とともにみんなの中に思い出として残るものになったのではないのでしょうか。

(中川 豊)



## グループホームわいわい ～ほっこり・にっこり～

グループホームわいわいでは、通報・消火・避難の訓練と、消火用設備等の点検を年に2回と、日中・夜間に地震が起こった事を想定した避難訓練を年に1回行い、毎回、訓練後のミーティングで、反省点や課題について話し合っています。

課題に挙げられる事の一つに、“避難誘導の仕方”があります。誰(スタッフ)が、誰(入居者様)と避難するのか?の声かけや、基本的に避難する時は安全上、歩ける方も車椅子にて避難していただくため、車椅子への誘導(移乗)時間が課題となります。

また、避難経路までに日頃使用していただいている椅子やテーブルが場合によっては障害

物となり、全員が避難するまでに時間がかかってしまう事です。この課題については、何度もスタッフで話し合い、普段からスタッフ全員が災害への意識を持って行動できるようにしなければいけないと思っています。

そして、地域の方への協力を得られるよう、さらに交流を深め、努めていきたいと思えます。

また、今後の取り組みとして、地震が起こった際に家具や家電などの転倒防止用具の購入、非常持出袋の準備、出火を防ぐために、定期的な掃除(特にコンセントまわり)等を行う予定です。

(小原)



—地震を想定した避難訓練(6月21日実施)—  
お年寄りには防災頭巾をかぶっていただき、  
スタッフはヘルメットをかぶっています。

[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●あったかほーむ いしべ宿(しゅく)

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: npowai@ex.biwa.ne.jp



●高齢者グループホーム わいわい

〒520-3107 湖南省市石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: waiwai@ex.biwa.ne.jp



●知的障がい者グループホーム・ケアホーム すずらんホーム

〒520-3108 湖南省市石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム・ケアホーム ホワイトハウス

〒520-3108 湖南省市石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム・ケアホーム さんさんハウス

〒520-3108 湖南省市石部南八丁目1番20-210号

TEL/FAX 0748-77-0630

E-mail: wac-sansan@dream.jp



●知的障がい者グループホーム・ケアホーム 南花(さざんか)

〒520-3108 湖南省市石部南五丁目4番4号

TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: wac-sazanka@dream.jp



●知的障がい者グループホーム・ケアホーム 栗東ハイツ

〒520-3043 栗東市林480番地

栗東ハイツA棟101号

TEL/FAX 077-553-0975



●知的障がい者グループホーム・ケアホーム Myほーむ

〒520-3108 湖南省市石部南七丁目1番9号

TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●くらしカフェ(ほっと館)

〒520-3107 湖南省市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2906/FAX 2907

E-mail: wac-info@dream.jp



●サポートセンター・本部事務局(ほっと館)

〒520-3107 湖南省市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2903/FAX 2907

E-mail: SP wac-sprtc@dream.jp 本部 honbu-saport@dream.jp



＜人材確保・育成＞地域での暮らしを支え合うためには、お互いさまの気持ちを持ち、いざとなったら発揮する知識・技能を備えた人材が欠かせません。そのような担い手を得ることや育てるため、国の「キャリアアップ」助成をもとに、介護や福祉に関する各種研修に参加できるプログラムを準備し始めています。乞うご期待。

＜編集後記＞

10月とは思えない日中の暑さ、陽が沈んだ途端に冷え込み、服装にも困りますね。中途半端なこの季節…食中毒にも気を付ける必要があるようです。

皆様もお体をご自愛ください。(みつい)

＜お願い＞

会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者(正会員・賛助会員)のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしく願っています。